

INFORMATION ほか

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00050420

INFORMATION

【期間：平成29年－30年】

Study Abroad Forum

本フォーラムでは、海外留学・研修の大切さや魅力を、医学類生等に紹介する。現在ニューヨークで研修・研究を行っている金沢大学出身の石塚万貴博士や、短期海外研修に参加した医学類5、6年生に、その体験をお話しいただく。また、ネパールやホンジュラスで医療活動を行っているミネソタ大学のDr. Pete Letourneauにもご講演いただく。

日時：平成29年11月16日（木） 18：30～20：30 場所：金大病院CPDセンター

主催：金沢大学 未来医療研究人材養成拠点形成事業 Andrew Schneider教授

連絡先：金沢大学医学系統合神経生理学 TEL：076-265-2173 E-mail: mieda@med.kanazawa-u.ac.jp

第110回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会

開催日：2017年11月19日（日）9時～17時 場所：石川県地場産業振興センター新館

開催概要（案） 特別講演：消化器内視鏡学研究と診療の展望（日本消化器内視鏡学会理事長）

教育講演：消化器内視鏡診療にかかわる医療事故の現状

パネルディスカッション：消化管表在がんの浸潤と転移－内視鏡診断と治療の現状－

ランチョンセミナー：消化管がん内視鏡検診の現状

一般演題，初期・後期研修医発表

支部例会事務局 〒920-0934 金沢市宝町13-1 金沢大学がん進展制御研究所腫瘍制御

支部例会長 源 利成 事務局担当 中西宏佳，浅香（事務）

☎076-265-2798 Fax 076-234-4529 E-mail: jsge-hokuriku110@med.kanazawa-u.ac.jp

第4回金沢大学 子どものこころサミット

開催日：平成29年11月30日（木）～12月2日（土） 開催場所：金沢大学十全講堂ホール 他

問合せ先：金沢大学子どものこころの発達研究センター childdev@med.kanazawa-u.ac.jp

※詳細に関しては、Webで「第4回金沢大学 子どものこころサミット」と検索して下さい。

子どもの発達障がいに関わる幅広い領域の専門家が集い、研究成果を発表すると共に、一般の方々に子どもの発達障がいとその研究への理解を深めて頂く。従来の活動報告に加えて、文部科学省委託事業「子どもみんなプロジェクト」の報告会を兼ねたシンポジウムを新たに企画し、研究者および地域教育関係者の間の連携を蜜にし、いじめ、暴力、不登校など、深刻化する子どもの問題について討論する。もう一つの新たな試みとして、自閉スペクトラム症児へのロボットを用いた療育実用化の動向を紹介するシンポジウムも企画している。

生化学セミナー

東京都医学総合研究所 統合失調症プロジェクト副参事研究員・プロジェクトリーダーの新井 誠先生をお迎えし、学類・大学院学生、医学薬学研究者を対象としたセミナーを開催する。統合失調症の新たな病態仮説として、「カルボニルストレス（糖化ストレス）」の観点から自検例を紹介し、バイオマーカー導入の意義、生活行動や食生活、心身の健康につながる研究の一端について紹介をしていただく。

日時：2017年12月1日（金）15：00～18：00 場所：医学類修士セミナー室

主催：血管分子生物学分野 TEL 076-265-2181 E-mail: yasuyama@med.kanazawa-u.ac.jp

新学術創成研究機構セミナー

日時：平成29年12月19日（金）17：00～18：00 場所：医学図書館 十全スタジオ

演者：黒田真也先生 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻 教授

演題：「インスリン作用のシステム生物学」

連絡先：新学術創成研究機構 革新的統合バイオ研究コア 栄養・代謝ユニット 井上 啓 (076-265-2840)

学際科学実験センター シンポジウム

日時：2018年1月12日（金）16：00～18：15 場所：金沢大学医学部記念館（2階プレゼンテーションルーム）

特別講演 講師：仲野 徹 教授（大阪大学大学院医学系研究科 病理学 幹細胞病理学）

演題：「秘伝!論文の書き方, 通し方」

お問い合わせ先：金沢大学学際科学実験センター ゲノム機能解析分野 堀家 慎一

TEL 076-265-2775 E-mail: sihorike@staff.kanazawa-u.sc.jp

第36回生命工学トレーニングコース～発生工学・基礎技術コース～ 招待講演

金沢大学・学際科学実験センターでは、毎年、生命工学トレーニングコースを開催しており、2005年より実験動物研究施設が担当しております。発生工学・基礎技術コースを本年度も1月24日～26日まで開催いたします。2日目の1月25日には16：00より、宝町キャンパス・アイソトープ総合研究施設1階会議室にて、発生工学技術の成功の要となる子宮・膈などの雌性生殖腺附属器官の発生に精通した、横浜市立大学大学院・生命ナノシステム科学研究科の佐藤友美先生に、ご講演していただく予定です。ご講演タイトルは、「マウス雌性生殖腺附属器官におけるエストロゲン受容体の役割について～ノックアウトマウスを用いた研究から～」です。皆様お誘いあわせの上、ぜひご出席いただきますようお願いいたします。

連絡先：学際科学実験センター 実験動物研究施設 TEL 076-265-246 E-mail: kamimura@kiea.m.kanazawa-u.ac.jp

第2回 神経リサーチセミナー

日時：平成30年2月6日（火）13：00～19：00 場所：医学図書館2階 十全記念スタジオ

主催：主要研究課題グループ【医医3】（代表：神経解剖学 堀修）

脳神経系の研究を行っている学内の基礎系研究室を中心に、リサーチセミナーを開催します。各研究室の研究成果を共有し、交流を深めるものです。口頭発表を21題予定しています。トピックスは神経発生・発達、神経変性、エピジェネティクス、疼痛、社会行動、体内時計、疾患モデル動物など、多岐にわたります。どなたでもご参加頂けますので、ご興味のある方はお気軽にお越しください。

問い合わせ先：統合神経生理学 三枝 理博 TEL: 265-2173 E-mail: mieda@med.kanazawa-u.ac.jp

脳神経医学セミナー

演題・演者「GABAA受容体複合体形成と抑制性シナプス伝達を制御する新奇補助サブユニットの同定」 山崎 世和

GABAA受容体は脳における抑制性シナプス伝達を担うイオンチャネル共役型の神経伝達物質受容体です。シナプス後部に局在するGABAA受容体は神経細胞の膜電位を制御し情報を伝えます。これまでGABAA受容体のシナプス後部への局在メカニズムについては様々な研究がなされているものの、未だ不明な点が多く残されています。山崎先生は最近、GABAA受容体が脳において巨大なタンパク質複合体を形成していることを見出し、その形成に必須な新奇GABAA受容体結合因子を同定しました。さらにGARLHと名付けたこの分子がGABAA受容体のシナプス局在と抑制性シナプス伝達において重要な役割を持つことを明らかにしました。今回のセミナーではGARLHを同定するに至ったユニークな生化学的アプローチと、新たに明らかとなったシナプス伝達を制御する分子メカニズムについて紹介していただきます。

場所：金沢大学医学図書館2階十全スタジオ 日時：2018年2月16日

連絡先：金沢大学 医学系 脳神経医学研究分野・河崎洋志 TEL 076-265-2365, e-mail kawasaki-sec@med.kanazawa-u.ac.jp

第28回金沢歯科口腔外科懇話会

金沢歯科口腔外科懇話会は、平成3年に金沢大学歯科口腔外科研修会としてスタートし、毎年回を重ね今年で28回になります。この会は金沢大学附属病院歯科口腔外科に患者さんを紹介して下さった先生と同窓の先生が集まり、歯科口腔外科の臨床と研究に関する研修を行う事を目的としています。本年は、金沢大学附属病院歯科口腔外科から16題の一般演題と特別講演を予定しています。本年の特別講演は三重大学・歯科口腔外科教授の新井直也先生にお願いしました。「薬剤関連顎骨壊死の現状と今後の課題」について、とても興味深いお話が聞けます。

日時：平成30年2月17日（土）14：30～ 場所：金沢東急ホテル

問い合わせ：金沢大学歯科口腔外科医局まで TEL：076-265-2444

Immunology Seminar

演題・演者：「免疫システムの動態を解析する免疫学の新たな潮流」 石井優 先生（大阪大学大学院医学系研究科 教授）

開催日：3月9日 17：00～18：00 開催場所：十全記念スタジオ（医学図書館2階）

連絡先：金沢大学医薬保健研究域医学系 免疫学 TEL：076-265-2727 E-mail: hanayama@med.kanazawa-u.ac.jp

【開催告知】

金沢大学十全医学会総会・学術集会

開催日：平成30年6月19日(火)

場所：金沢大学十全講堂

§ 十全医学会総会

12:40 - 13:00

- I. 会長挨拶
- II. 庶務報告
- III. 会計報告
- IV. 編集報告

平成29-30年 事業計画および報告

- 1. 平成29年 決算報告
- 2. 平成30年 予算計画

§ 平成29年度(第14回)金沢大学十全医学受賞記念講演

13:00 - 13:35

受賞講演「全身性強皮症におけるサイトカイン産生B細胞の

機能解析ならびに新規治療法の開発」

金沢大学医薬保健研究域医学系 皮膚分子病態学 講師 松下 貴史 先生

§ 学術集会『人工知能とロボット技術』

～近未来の医学と工学の接点～

13:45 - 17:50

講演1. 金沢大学医薬保健研究域医学系 泌尿器集学的治療学 准教授 角野 佳史 先生

講演2. 金沢大学新学術創成研究機構 未来社会創造研究コア 准教授 菅沼 直樹 先生

講演3. 独立行政法人国立病院機構 新潟病院 病院長 中島 孝 先生

講演4. 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
人工知能研究センター センター長 辻井 潤一 先生

【問合せ】 金沢大学十全医学会
TEL 076-265-2131
E-mail:kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

金 沢 大 学 十 全 医 学 賞

【平成30年度(第15回)金沢大学十全医学賞】 (応 募 規 程)

名 称 本賞を『金沢大学十全医学賞』と称する。

目 的 本賞は医学の進歩に寄与する顕著な研究を発表し、なお将来の発展を期待しうる優れた若手研究者に対し、賞を与え顕彰することを目的とする。

選考対象 1. 会員歴5年以上の中より選考する。(応募時に会員は会費を完納している事)
2. 応募締切日時時点で45歳未満とし、教授およびそれに相当する職位の者は除く。

応募締切 平成30年8月1日(水) 必着

応募書類 1. 応募申込書と関連研究の別冊5編(オリジナル1部, そのコピー9部)(authorとして名前が入っている過去5年間)の論文を事務局宛に提出する。提出書類は返却しない。なお、応募申込用紙はHPからダウンロードするか、様式(記載内容)が同じであれば応募者が作成したものを提出してよい。

2. 関連研究業績について

- 1) 過去5年間で申請者が発表した論文, 著書のうち, 本研究に関する重要な論文名を10件選定する。なお, 論文は掲載が決定しているものに限る。
- 2) 記載は現在から順に発表年次を過去にさかのぼって, 通し番号を付ける。
- 3) 記載する発表論文については, 著者名, 論文名, 掲載誌名, 掲載誌のインパクトファクター, 巻(号), ページ, 掲載年(西暦)を記載する。(添付した別冊の番号に○印をつける)
- 4) 著者名が多数にわたる場合は, 主な著者名を3名程度記入(申請者にはアンダーラインを付す)し, 以下を省略する。省略した場合は, 申請者が掲載されている順番及び員数名を記入する。
例) 申請者名 1, ○○○, …… 他7名
○○○, 申請者名 2, ○○○, …… 他9名

3. 研究の概要を2000字以内にまとめて記載する。

選考方法 1. 会長は会長の委任による選考委員会を設置し、選考委員会の議を経て授賞者を決定する。
2. 選考委員会が応募論文を審査の上、優れた研究者を選出する。

表彰および発表

1. 楯, および副賞 **20万円** を授与する。
 2. 当該年度十全医学会雑誌3号に受賞論文に関する総説を掲載する。
 3. 受賞講演を行う。
- ※受賞後であっても虚偽の事実や本要項違反行為が発覚した場合は、受賞を取り消し、賞金の返還を求める場合があります。

申請・提出先

金沢大学十全医学会(十全医学賞申請)
〒920-8640 金沢市宝町13-1
TEL: 076-265-2131 FAX: 076-234-4208
E-mail: kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp
<http://juzen-igaku.w3.kanazawa-u.ac.jp>